

県指定 天然記念物

横島のビャクシン自生地



ビャクシンは、ヒノキ科の常緑針葉高木で、普通雌雄異株であるが、まれに同株のものもある。横島のビャクシンはシャリンバイ、トベラなどの低木とともに岩の露出する東岸の絶壁に生育する。岩の間のわずかな平地を中心に7か所に数株ずつ生えている。断崖には枯死した古い株が見られ、随分古くから生育していたことを裏付けている。豊後水道の南限として県の天然記念物に指定されているが、日本列島の南限でもある。